

## マルコの福音書 12 章 28 から 34 節 神を愛し、隣人を愛す。

本日からまた、マルコの福音書に戻ります。まず、今日のこの出来事に至った経緯を思い出してください。2ヶ月前、私たちは、神殿でイエスに対立し、彼を畏にかけ、その言葉でイエスの信用を失墜させる方法を探していたサンヘドリンたちを見ました。思い出していただきたいのは、サンヘドリンとは、ユダヤ人の宗教と市民生活の大部分を支配していたグループであったという点です。そして、それは3つの異なる宗教グループから構成されていました。今日のマルコによる福音書12章28節から34節では、イエスがそれぞれのグループから受けた3つの質問のうち、最後の質問を見ていきます。この3つの質問は、パリサイ派の質問から始まり、サドカイ派による第二の質問、そして今日は律法学者がイエスを試すために最後の質問に至りました。ヨハネが行ったバプテスマでイエスの権威は確立され、それがイエスのミニストリー全体を特徴づけてきたことを、この出来事を通じて示しています。そして、これらのグループが今、イエスに質問しようとしている背景を思い出してください。マルコによる福音書12章12節は、このような対決を導いている背景を次のように記しています。<sup>12</sup>彼らは、このたとえ話が自分たちを指して語られたことに気づいたので、イエスを捕らえようと思ったが、群衆を恐れた。それでイエスを残して立ち去った。彼らは、社会におけるイエスの影響力を弱めるために、イエスを逮捕する理由を探しているのです。そして、その目的に向かって、私たちはこれら3つの対決が起こるのを見るのです。まず、イエスの生涯の最後の週に起こった次の出来事を読んでいきましょう。

マルコの福音書12章28から34節には次のように書かれています。<sup>28</sup>律法学者の一人が来て、彼らが議論するのを聞いていたが、イエスが見事に答えられたのを見て、イエスに尋ねた。「すべての中で、どれが第一の戒めですか。」<sup>29</sup>イエスは答えられた。「第一の戒めはこれです。『聞け、イスラエルよ。主は私たちの神。主は唯一である。』<sup>30</sup>あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』<sup>31</sup>第二の戒めはこれです。『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。』これらよりも重要な命令は、ほかにありません。』<sup>32</sup>律法学者はイエスに言った。「先生、そのとおりです。主は唯一であって、そのほかに主はいない、とあなたが言われたことは、まさにそのとおりです。』<sup>33</sup>そして、心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして主を愛すること、また、隣人を自分自身のように愛することは、どんな全焼のささげ物やいけにえよりもはるかにすぐれています。』<sup>34</sup>イエスは、彼が賢く答えたのを見て言われた。「あなたは神の国から遠くない。」それから後は、だれもイエスにあえて尋ねる者はいなかった。この箇所を理解するためには、律法学者を理解することが重要です。パリサイ派の人々は、イスラエルがトーラと呼ばれる旧約聖書の最初の5巻に記されている神の律法に従っているかどうかを確認するための宗教的な規則を作るなど、イスラエルの宗教生活を指導する役割を担っていました。先ほども言いましたとおり、サドカイ派の人々は、パリサイ派の人々と対立していました。彼らは超自然的なものを一切信じず、旧約聖書の多くを否定していました。しかし、律法学者たちは、ユダヤ人の生活の中でユダヤ教の聖典である旧約聖書の非常に詳細で正確な書写しを任されていた人々だったのです。様々な文書を写すという職務は、社会全体で果たされていましたが、律法学者たちは特に聖書の書写しを担っていました。平均的な律法学者は、一生のうちに一度、旧約聖書の写本一冊を完全に書き写したと、どこかの本で読んだことがあります。そして、安息日の休みを取る以外は、フルタイムで働き、15ヶ月を要したと考えられます。彼らは旧約聖書のヘブライ語やアラム語の一字一句を何度も何度も書き写すことに人生を費やしていました。ある注釈者によると、彼らは写本に間違いがないようにするために、4000もの規則に従って写本をしなければならなかったのです。このように厳密な写本が行われてきたので、今日でも聖書学者たちは、原典の実際の言葉がどのようなものであったのかについて確信を持つことができるのです。聖典を書き写した律法学者たちは、社会で最も高度な教育を受けた人々の一人であり、聖典に関する深い知識を持っていたため、旧約聖書や律法の細部にまで精通していました。このイエスに質問をした律法学者の問いとイエスへの回答は、彼の知識と聖書の真の理解を反映したものとなっています。彼がイエスにした質問は、ユダヤの歴史を通じて、偉大なラビ（ユダヤ教の宗教的教師）にしばしば尋ねられたものでした。聖書以外の記録に、これらの偉大なラビたちがそのような質問をされ、どのように答えたかが記されています。だから、「すべての中で、どれが第一の戒

めですか。」とたずねられるのは、尊敬する教師としてごく普通の質問だったのです。この同じ質問は、歴史上何百回となく尋ねられ答えられてきたし、おそらくこの律法学者自身も他のラビに同じ質問をしていたのでしょ。しかし、その違いはイエスのどのように答えたかにあります。実は、イエスが指し示す第一の戒め、すなわち、イスラエルの人々やすべての宗教的ユダヤ人の目に最も偉大な聖句として映っている戒めを、その質問への答えとして示した偉大なラビは他にもいました。これはシェマー (SHEMA) と呼ばれていました。申命記 6章4節から5節には次のように書かれています。<sup>4</sup>聞け、イスラエルよ。主は私たちの神。主は唯一である。<sup>5</sup>あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。この聖書箇所は、朝夕の祈りの際に、神がその民に何を求め、どのような関係にあるのかを思い起こさせるために、律法の残りの掟の要約として引用されてきました。しかし、イエスはそこで終わらなかつたのです。この答えだけで十分であったはずなのですが、しかし、イエスはそれをさらに進めて、レビ記19章18節の第二の戒め『『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。』と結びつけたのです。イスラエルの人々がこの戒めを無視していたわけではありませんが、これをシェマーと組み合わせ、そのレベルまで引き上げたのが、イエスの主張のユニークな点です。

そして、その質問をした律法学者は、そのユニークさとその背後にある強力な真理を理解していました。彼は続けて、「先生、そのとおりです。主は唯一であつて、そのほかに主はいない、とあなたが言われたことは、まさにそのとおりです。<sup>33</sup>そして、心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして主を愛すること、また、隣人を自分自身のように愛することは、どんな全焼のささげ物やいけにえよりもはるかにすぐれています。」と答えています。律法学者は、「神を愛しなさい」という戒めを、他者を愛しなさい」という戒めへと昇華させることによって、神に対する私たちの行動や態度が、他者に対する私たちの行動や態度として実際に生きたものとなることによって、神に対する私たちの信仰を証ししていくことができる、と、イエスが言っているのだと理解しました。パリサイ派の人々は同意しなかつたかもしれないが、律法学者は理解しているように見えるその驚くべき真理とは、私たちの信仰は、宗教的行為、つまり捧げ物やいけにえに還元することはできないという真理なのです。律法学者はイエスの答えを拒絶するどころか、受け入れ、同意しています。ここに見えるのは、ヤコブへの手紙にあるのと同じ真理なのです。ヤコブの手紙2章18節から19節には次のように述べられています。<sup>18</sup>しかし、「ある人には信仰があるが、ほかの人には行いがあります」と言う人がいるでしょう。行いのないあなたの信仰を私に見せてください。私は行いによって、自分の信仰をあなたに見せてあげます。<sup>19</sup>あなたは、神は唯一だと信じています。立派なことです。ですが、悪霊どもも信じて、身震いしています。私たちの信仰、つまり神への信仰は、他者への愛に結実しなければならないのです。だから使徒パウロは、人を愛することについて、第一コリント人への手紙13章1節から2節で次のように語っています。<sup>1</sup>たとえ私が人の異言や御使いの異言で話しても、愛がなければ、騒がしいどらや、うるさいシンバルと同じです。<sup>2</sup>たとえ私が預言の賜物を持ち、あらゆる奥義とあらゆる知識に通じていても、たとえ山を動かすほどの完全な信仰を持っていても、愛がないなら、私は無に等しいのです。最後に使徒ヨハネも次のように語っています。第一ヨハネの手紙4章20節、<sup>20</sup>神を愛すると言いながら兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません。

律法学者はこの真実を理解しているのです！私たちは神を愛していると言いながら、その愛から他者に愛を示さないような、そのような信仰の行為を行うことはできないはずなのです。次に進む前に、今朝はこの真実をもう少し掘り下げてみようと思います。聖書の中では、私たちはどのような人々を愛するようと言われているのでしょうか。もちろん、ここでイエスは、私たちに隣人を愛しなさいと言っています。しかし、イエスが同じように答えた、別の対決では、「私の隣人とは誰なのでしょう」とイエスは質問されています。ルカによる福音書10章30節から36節で、イエスは私たちの隣人が誰であることを説明しているのです。イエスは答えられた。「ある人が、エルサレムからエリコへ下って行ったが、強盗に襲われた。強盗たちはその人の着ている物をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。そしてイエスは31節から32節で、二人

の宗教的なユダヤ人がこの男のそばを通り過ぎたと語っています。そして33節では…<sup>33</sup>ところが、旅をしていた一人のサマリア人は、その人のところに来ると、見てかわいそうに思った。<sup>34</sup>そして近寄って、傷にオリーブ油とぶどう酒を注いで包帯をし、自分の家畜に乗せて宿屋に連れて行って介抱した。そしてイエスは36節でこのように問うています。<sup>36</sup>この三人の中でだれが、強盗に襲われた人の隣人になったと思いますか。」答えはもちろんこのサマリア人です。ただ、ここで問題なのは、サマリア人が当時すべての善良なユダヤ人から嫌われていたという事実なのです。サマリア人とは、ユダヤ人と異邦人の混血の人々であり、神を正しく礼拝していなかったため、人種的、宗教的な理由から、ユダヤ人から軽蔑されていたのです。イエスは、文化的な理由から軽蔑の対象となる人々が、私たちの隣人であると言われました。現代の私たちにとって、自然に拒絶したいと思う人々こそが、私たちの隣人なのです。

同様に、イエスは敵も愛しなさいと教えています。マタイの福音書5章43節から44節を見てください。<sup>43</sup>『あなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎め』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。<sup>44</sup>しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。真にあなたの敵である人、おそらくこの場合は文化的な理由ではないでしょうが、あなたを不当に攻撃し、あなたの敵である人も、あなたが愛すべき人なのです。そして、私たちは彼らのために祈り、神の憐れみと恵みが彼らに及ぶように神に呼びかけることによって、彼らを愛すのです。ルカによる福音書23章34節にあるように、イエスが十字架上で祈られたのはそのためなのです。<sup>34</sup>そのとき、イエスはこう言われた。「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」これは本当に難しいことです！しかしこれが私たちが命じられたことであり、職場の敵であれ、学校の敵であれ、隣人であれ、家族であれ、神が命じられたとおり、私たちは彼らを愛し、彼らのために祈るべきなのです。私たちが特に愛するように命じられているもう一つのグループは、移民の人々です。レビ記19章34節には、次のように書かれています。<sup>34</sup>あなたがたとともにいる寄留者は、あなたがたにとって、自分たちの国で生まれた一人のようにしなければならない。あなたはその人を自分自身のように愛さなければならない。あなたがたも、かつてエジプトの地では寄留の民だったからである。わたしはあなたがたの神、主である。この寄留者を愛しなさいという命令は、隣人とは誰かというイエスの定義と非常によく合致しています。国家は、誰がその国に入ってきて、いつまで留まることができるのか、誰が入国してはいけないのかを議論し、法律によって定めることができます。また、ある程度はそうしなければならないのです。しかし、クリスチャンにとっては、単に私たちの周りにいる人々を、市民権を持っている、持っていないに関係なく、愛すべき隣人とみなすことを意味しています。私たちは、国家が違法だといっているからといった政治的な理由から、隣人を愛さないという行動をとることはできないのです。

しかし、聖書には他にもう2つの愛しなさいという命令があります。イエスは、他のクリスチャンを愛しなさいと言っています。ヨハネの福音書13章35節では、互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」と書かれています。さて、このグループの人々を愛するのは簡単なことなのでしょうか？私たちは皆、イエスを愛しています。しかし、教会にそれなりに長くいるみなさんは、これが必ずしも簡単なことではないことを知っているのではないのでしょうか。私たちは家族であるはずですが、時には家族が喧嘩することもありますし、家族のメンバーを好きになれないこともあります。教会にいるすべての人があなたの大親友である必要はありませんが、イエスが二番目に偉大な命令として述べていることに従うためには、私たちは教会を構成するすべての人を愛することが求められるのです。最後の愛すべきグループの人々について、これと同じような愛の命令を見ることができません……それは簡単なはずなのですが、私たちはあまりにも頻繁に、命じられているように愛することができていないのです。この命令は、夫である方々に当てはまります。エペソ人への手紙5章25節を見てください。<sup>25</sup>夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも妻を愛しなさい、と書かれています。夫は妻を愛することを求められています。この節で明らかにされている聖書の愛の定義を見てください。その愛とは、相手のために自

分の欲望、意志、関心を犠牲にするような、犠牲的愛なのです。それが、イエスが私たちのためにしてくださったことであり、私たちが他者のためになすように求められていることなのです。そして男性の場合、私たちは妻を犠牲的に愛するよう求められているのです。多くのクリスチャンの結婚が、なぜうまくいっていないのかがみなさんにお分かりでしょうか？それは、妻が服従しなかったからではなく、男性が（妻を）愛せなかったことに起因しているのです。私たち、特に男性は生来、利己的で、自分の人生を自分中心に回したいと思っています。私たちは仕事でも家庭でも利己的でいられることを求めるのです。そしてこの利己主義は、私たちが妻に示すべき愛とは正反対のものなのです。

この命令を実行するのは簡単ではないのです！では、隣人、自分たちの敵、移民、他のクリスチャン、そして妻を本当に愛するにはどうしたらいいのでしょうか？それはイエスの命令を正しい順序で守ることから始まります。私たちは、まず神を愛します。私たちは、まず神を愛することによって、神に仕え、神を礼拝するのです。みなさんは、神への愛がどのようなものかご存知ですか？イエスはまず心を尽くして、魂を尽くして、力を尽くして神を愛することからはじまると言っています。それは、私たちが全身全霊で、神に完全に仕え、献身することなのです。それは、私たちの内面、私たちの心、私たちの感情、私たちを突き動かす動機を全て、神に捧げることなのです。それは私たちの魂、つまり永遠であり、心と呼ばれる部分と同じと思われる部分を、神に捧げることなのです。しかし、この献身はここでとどまらず、私たちの頭脳、知性をも、神に捧げようことを求めるのです。心の真理と教育から来る真理が別々にあるわけではないのです。すべての真理は、神の真理なのですから、私たちが学ぶことはすべて、神の御言葉というレンズを通して見なければならぬのです。そして最後に、私たちの行動、私たちがすること、私たちが力を使う行為全てを神に捧げることなのです。もちろん、私たちはこれを完璧にこなすことはできませんが、年月を重ねるごとに成長し、神に全ての行為を捧げられるようになっていくのです。神を愛することが隣人を愛することにつながっていくのです。律法学者はこの真理を理解していましたが、ではなぜイエスは彼に「あなたは神の国から遠くない。」と言われたのでしょうか？律法学者は天の国の近くにはいましたが、天の国にはいなかったのです。彼は、救いは宗教制度を守ることで得られないこと、自分自身と隣人への愛をもたらす神への信仰にあることを正しく理解していましたが、では、なぜ律法学者は、王国の近くにはいるが、王国の外にいるとイエスは言っているのでしょうか？それは、彼らの信仰が、犠牲のすべてが指し示す神の子、イエス・キリストに根ざす必要があったからなのです。真に神への信仰を持つためには、私たちの信仰が、私たちの罪のための生贄として、命を捨ててくださったメシアへの信仰に基づかなければならなかったのです。聞いていた人々は、イエスの最後の応答で、イエスの権威が異なっていること、イエスの存在と神との関係、神の国との関係が（今までの預言者とは）異なっていることを認識していましたが、律法学者は、トーラ、神の律法に誰が忠実であるかどうかを真に判断することができたので、その点においてはイエスを全面的に肯定することができました。しかし、誰が神の国に入ることができて、誰が入ることができないかを判断することができるのはイエスだけなのです。ヨハネの福音書 14章6節には、<sup>6</sup>イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません、と書かれています。今日、私たちが誰を愛するべきかについて、私が述べたことにすべて賛成できるとあなたは言えるかもしれません。しかし、もしあなたが、私が述べたように愛していないこと認識されていないのなら、あるいは、あなたが私たちが命じられているように神や他人を愛することができない罪人であることを認識されていないのなら、あなたはまだイエスが必要であることに気づいていないのも同然なのです。イエスは、あなたの罪のために十字架上でご自分を犠牲にして私たちの罪の罰を背負い、あなたに注がれて当然の神の怒りを受けてくださったのです。そして今日、あなたが罪を悔い改め、イエスのもとに行き、彼を主であり救い主として信頼するとき、彼はあなたの罪を赦し、あなたが神を愛し、他の人々を本当に愛することができるようにしてくださるのです。心を尽くし、魂を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして神を愛し、隣人を自分のように愛するという願いが、2025年の私たちの人生を導いてくれるよう私は願っています。それでは祈りましょう。

## Mark 12:28-34 Loving God, Loving others

Today, we are back in Mark, and I want to start by just reminding us of how we got to this event today. If you remember 2 months ago, we were introduced to the Sanhedrin who confronted Jesus in the temple and were looking for a way to trap him and discredit him in his words. As a reminder, the Sanhedrin was the ruling party that governed Jewish religious and much of their civic life. It consisted of 3 different religious groups. In today's passage, Mark 12:28-34, we see the final of three questions that Jesus receives from each group. Beginning with the question of the Pharisees, then the question from the second group, the Sadducees, today we will see the Scribes bring a final question to test Him. In each event of questioning, Jesus demonstrates his authority, which we saw was established at his baptism by John and has characterized his entire ministry. And remember, the context in which these groups are now seeking to question him. [Mark 12:12](#) leads into these confrontations by telling us, <sup>12</sup> [And they were seeking to arrest him but feared the people, for they perceived that he had told the parable against them. So they left him and went away.](#) They are looking for a reason to arrest Jesus to undermine his influence in society. And it is towards that purpose, we see these three confrontations happen. Let's begin by reading this next event that takes place in this last week of Jesus's life.

[Mark 12:28-34](#) says, [28 And one of the scribes came up and heard them disputing with one another, and seeing that he answered them well, asked him, "Which commandment is the most important of all?"](#)[29 Jesus answered, "The most important is, 'Hear, O Israel: The Lord our God, the Lord is one. 30 And you shall love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your mind and with all your strength.' 31 The second is this: 'You shall love your neighbor as yourself.' There is no other commandment greater than these."](#) [32 And the scribe said to him, "You are right, Teacher. You have truly said that he is one, and there is no other besides him. 33 And to love him with all the heart and with all the understanding and with all the strength, and to love one's neighbor as oneself, is much more than all whole burnt offerings and sacrifices."](#) [34 And when Jesus saw that he answered wisely, he said to him, "You are not far from the kingdom of God."](#) [And after that no one dared to ask him any more questions.](#) In order to understand this passage, it is important to understand who the scribes were. The Pharisees were the ones charged with leading the religious life in Israel, including creating religious rules to ensure that Israel was following God's law as put forth in the Torah, the books of Moses in the first five books of the Old Testament. The Sadducees, as we previously discussed were the anti-Pharisees. They did not believe in anything supernatural and rejected much of the Old Testament. But the Scribes were the ones in Jewish life who were charged with the very detailed and precise copying of the Jewish Scriptures, the Old Testament. Their duties would have extended throughout society in copying various documents, but the primary role for Jewish Scribes was the copying of Scripture. For the average scribe, I read one idea that they would have fully copied one manuscript of the Old Testament scriptures one time in their life. And it would have taken them 15 months working full time with the Sabbath day off to do this. Their lives would be spent copying each letter, each word, each phrase of the Hebrew and Aramaic of the Old Testament over and over and over again. One commentator said that they had to follow 4000 rules in their copying in order to make sure there were no mistakes in their copies. That is also why even today there is certainty by Bible Scholars on what the actual words of the original manuscripts were. But those scribes who copied scripture were among the most highly educated people in

society and their in depth knowledge of scripture led to them being experts on every detail of the Old Testament and the law. His question and his answer to Jesus reflect that knowledge and real understanding of the Scripture.

His question was one that was often asked of great Rabbis, Jewish Religious teachers, throughout Jewish history. There are non-Biblical records that show all the greatest Rabbi's being asked those questions and what their responses were. So when he asks, **"Which commandment is the most important of all?"**, that would have been a very normal question for a respected teacher to be asked. This same question had been answered hundreds of time throughout history, and perhaps this scribe himself had asked this same question of other Rabbis. But the difference is in the answer that Jesus gives. There were actually other great Rabbis who had pointed out the first commandment that Jesus points to, which is the greatest scripture in the eyes of the people of Israel and every religious Jew. It is called the SHEMA. And it is found in [Deuteronomy 6:4-5](#), 4 **"Hear, O Israel: The Lord our God, the Lord is one. 5 You shall love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your might.** This was quoted during morning and evening prayers as a summary of the rest of the laws of the Torah to remind them of God's requirements and relationship with them. But Jesus didn't stop there. That would have been considered a good answer, but then Jesus takes it further and combines it with a second commandment from [Leviticus 19:18](#), **'You shall love your neighbor as yourself.'** This commandment was not ignored, but to combine it with the SHEMA and lift it to that level was unique to Jesus.

And the Scribe asking the question recognized its uniqueness and the powerful truth behind it. He says, **"You are right, Teacher. You have truly said that he is one, and there is no other besides him. 33 And to love him with all the heart and with all the understanding and with all the strength, and to love one's neighbor as oneself, is much more than all whole burnt offerings and sacrifices."** The Scribe recognized that by elevating the commandments to Love God and then to love others in the way that Jesus did, he was saying that our actions and attitudes towards God and then lived out toward others determined the truth of our belief our faith in God. The surprising result of that truth that the Pharisees might not have agreed with that the Scribe seemed to understand was that our faith could not be reduced to religious actions – offering and sacrifices. The Scribe rather than rejecting Jesus answer, embraces it and agrees with it. It is the same truth that we find in the book of James. [James 2:18-19](#) says, **18But someone will say, "You have faith and I have works." Show me your faith apart from your works, and I will show you my faith by my works. 19You believe that God is one; you do well. Even the demons believe—and shudder! Your faith, your belief in God, must result in your faith being lived out in your love for others.** So the Apostle Paul speaking about loving others, says in [1Corinthians 13:1-2](#) **13 If I speak in the tongues of men or of angels, but do not have love, I am only a resounding gong or a clanging cymbal. 2 If I have the gift of prophecy and can fathom all mysteries and all knowledge, and if I have a faith that can move mountains, but do not have love, I am nothing.** And finally the Apostle John writes in [1John 4:20](#) **20 If anyone says, "I love God," and hates his brother, he is a liar; for he who does not love his brother whom he has seen cannot love God whom he has not seen.**

The Scribe gets this! We can't do religious acts of worship saying we love God and not out of that same love, show love to others. And I want to explore this a little further this

morning before moving on. Let's think about some people we are told to love in the Bible. Of course here, Jesus has said that we are to **love our neighbor**. But in another confrontation when Jesus gives the same answer, he is questioned with "who is my neighbor." And in [Luke 10:30-36](#), Jesus tells a story to explain who is our neighbor. [30](#) Jesus replied, "A man was going down from Jerusalem to Jericho, and he fell among robbers, who stripped him and beat him and departed, leaving him half dead. Then Jesus says in verse 31-32 that two religious Jews went right past him. Then verse 33... [But a Samaritan, as he journeyed, came to where he was, and when he saw him, he had compassion. 34](#) He went to him and bound up his wounds, pouring on oil and wine. Then he set him on his own animal and brought him to an inn and took care of him. Then Jesus asks in [Luke 10:36](#), [36](#) Which of these three, do you think, proved to be a neighbor to the man who fell among the robbers?" The answer is of course the Samaritan. The issue with this is that the Samaritans were hated by all good Jews at the time. They were half Jews and half Gentiles and did not worship God properly so they were despised on racial and religious grounds. Jesus says that person your culture leads you to hate, he is your neighbor. For us today, anyone that we would naturally reject, that is our neighbor.

Along similar lines, Jesus also tells us to **love our enemies**. Look at [Matthew 5:43-44](#). [43](#) "You have heard that it was said, 'You shall love your neighbor and hate your enemy.' [44](#) But I say to you, Love your enemies and pray for those who persecute you... The one who is truly your enemy, perhaps there is no cultural push involved, but someone is truly attacking you unjustifiably and is your enemy, is also someone you should love. And we love them by praying for them, by calling out to God for God's mercy and grace to be extended to them. It is what Jesus did on the cross when he prayed from the cross in [Luke 23:34](#), [34](#) "Father, forgive them, for they know not what they do." That is really tough! But that is what we are commanded to do, whether it is an enemy at work, at school, a neighbor or even a family member, we love them and pray for them as God has commanded. Another group of people that we are specifically commanded to **love are immigrants**. [Leviticus 19:34](#) says, [34](#) You shall treat the stranger who sojourns with you as the native among you, and you shall love him as yourself, for you were strangers in the land of Egypt: I am the Lord your God. This command fits in well with Jesus's definition of who our neighbor is. Nations can and to some extent must argue over and legislate who can come in and for how long and who is not allowed. But for Christians, I would say this means that we simply see those around us someone to love regardless of immigration status or citizenship. We can never put our politics over God's commands to love others.

But there are two other commands to love in Scripture and these should be easier, but definitely are not always. Jesus says that we are to **love other Christians**. [John 13:35](#) says, [By this all people will know that you are my disciples, if you have love for one another.](#)" Now, this should be an easy group to love, right? We all love Jesus, so how could it be hard to love each other? But I think for all of us who have been in and around church for a while, we know that is not always easy. We are supposed to be family, but sometimes families fight and sometimes we don't always like our family members. Not everyone in the church needs to be your best friend, but if we are going to obey what Jesus describes as the second greatest command, we will love all of those who make up the church. The last area we see a command to love that is along those same lines...it should be easy, but far too often we fail to love as we are commanded. This command is specific to Husbands. Look at [Ephesians 5:25](#). [25](#) Husbands, love your wives, as Christ

loved the church and gave himself up for her. Husbands are to **love our wives**. Remember the Biblical definition of love that is made clear here in this verse. It is sacrificing our desires, will and interest for the other person. That is what Jesus did for us, and what we are to do for others. And in the case of men, we are called to sacrificially love our wives. You know why many Christian marriages are in trouble? Not because wives have failed to submit, but because men have failed to love. We, and I would say especially men, are naturally selfish, and we want our lives to revolve around ourselves. We want this at work, and we want this at home. And this selfishness is the opposite of the love we are supposed to show our wives.

This command isn't easy! So, how do we really love our neighbor, our enemy, immigrants, other Christians and our wives? It is keeping Jesus's words in the correct order. We first love God. We seek to serve and worship him by loving him. Do you know what love for God looks like? He says here it is loving him with our heart, soul, mind and strength. It is every part of our being committed to serving him completely. It involves the inside of us, our heart, the seat of our emotions and what motivates us. It involves our soul, the part of us that is eternal and could be the same part referred to by heart. But it also involves our mind, our intellect. There is not a heart truth and then a truth that comes from education. All truth is God's truth, so everything we learn must be seen through the lens of God's Word. And finally, our actions, what we do, what we use our strength for. We won't do this perfectly of course, but we will grow in it as the years progress. The love of God is what leads to the love of neighbor. The scribe understood that, but then why does Jesus tell him that he is **"...not far from the kingdom of God."** The scribe was near but not in the kingdom of heaven. He correctly recognized that salvation was not found in keeping the religious system, but in faith in God that resulted in love for him and for neighbor. So, why were they near, but not "in" the kingdom? It was because their faith needed to be rooted in the Son of God, Jesus Christ who was the one those sacrifices all pointed to. To truly have faith in God, our faith must be in His Messiah who would lay down his life as a sacrifice for our sin. Those listening recognized in Jesus's final response that his authority was different, his existence and relationship with God and with God's kingdom was different. The Scribe could judge with true judgement whether a person was faithful to the Law of God in the Torah, and so they fully affirmed Jesus in that regard. But only Jesus can affirm who is in the kingdom of God and who is not. According to [John 14:6](#), He is **"the way, the truth and the life and no one comes to the Father except through him."** Today, you may say you agree with everything I have said here today regarding love and who we should love. But if you have not recognized that you do not love in that way, that you are a sinner who cannot love God or others as we are commanded, then you have not realized yet that you need Jesus. He sacrificed himself on the cross to pay the penalty for your sin and take the wrath of God that you deserved to have poured out on you. And today when you come to him in repentance of your sin and trust in him as your Lord and Savior, he will forgive you of your sin and enable you to love God and really love others. **Let that desire to love God with all of our heart, soul, mind and strength and our neighbor as ourself guide our lives in 2025. Let's pray.**